



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 アイエックス・ナレッジ株式会社
コード番号 9753 URL <http://www.ikic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 文男

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長兼経理部長 (氏名) 石井 嘉範

TEL 03-6400-7000

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	12,961	6.8	375	44.8	414	41.9	279	147.2
27年3月期第3四半期	12,134	6.2	259	240.6	292	207.5	113	164.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	24.43	—
27年3月期第3四半期	9.61	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	8,621	3,861	44.8
27年3月期	9,165	4,041	44.1

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 3,861百万円 27年3月期 4,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,072	1.7	626	21.5	656	17.1	408	6.9	34.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	13,034,660 株	27年3月期	13,034,660 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	2,343,651 株	27年3月期	1,276,373 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	11,440,823 株	27年3月期3Q	11,762,567 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における当社をとりまく事業環境は、企業業績や雇用情勢に改善の兆しが見られる中、製造業を中心とした国内企業のIT投資が堅調に推移しており、IoTの進展、クラウドビジネスの拡大などにより多様化する顧客ニーズへの対応が求められてきました。

このような環境のなか当社は、引き続き需要が見込まれる金融分野での体制強化や情報インフラの構築・運用支援業務の効率化を図る部門再編をするとともに、営業力強化のため一部で製販一体の体制とするなど、事業の選択と集中を着実に推進してきております。

当期間での事業別状況を見ますと、コンサルティング及びシステム・インテグレーション・サービス業務では、メガバンク向け次期システム開発の継続受注や証券及び生保関連業務の追加受注など、金融分野の好調が続き、売上高が大きく伸長しました。さらに、年金・健康保険などの福祉関連や教育関連といった社会・公共分野における受注も堅調に推移しました。一方、事業環境の変化により通信関連事業者のシステム投資が鈍化した情報・通信分野の売上高は横ばいとなりました。また、不動産や印刷関連の案件などを新規に受注したものの、広告代理店向けのシステム開発などの大型案件が収束したことにより、産業・サービス分野の売上高は低調に推移しました。

システムマネージメントサービス業務においては、統合システム運用管理ツールを利用したシステム運用案件を中心に既存業務の受注規模を維持し、ほぼ横ばいの売上高となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高が12,961百万円（前年同期比6.8%増）、利益面では営業利益375百万円（前年同期比44.8%増）、経常利益414百万円（前年同期比41.9%増）、四半期純利益につきましては279百万円（前年同期比147.2%増）と前年同期に比べて増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は8,621百万円となり、前事業年度末に比べ543百万円減少しました。これは主に「現金及び預金」の減少546百万円、「受取手形及び売掛金」の減少425百万円、「仕掛品」の増加326百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は4,760百万円となり、前事業年度末に比べ363百万円減少しました。これは主に「賞与引当金」の減少416百万円、「未払法人税等」の増加138百万円、「1年内返済予定の長期借入金」の減少126百万円、「未払金」の増加113百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は3,861百万円となり、前事業年度末に比べ180百万円減少しました。これは主に「自己株式」の増加390百万円、「利益剰余金」の増加197百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の44.1%から44.8%となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の業績予想につきましては、概ね平成27年4月30日に公表しました業績予想の範囲内で推移しており、現時点において同予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

四半期会計期間に係る法人税等については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,587,077	3,040,580
受取手形及び売掛金	2,547,671	2,122,307
商品	3,556	114
仕掛品	351,889	677,988
繰延税金資産	401,532	401,532
その他	185,722	214,636
流動資産合計	7,077,450	6,457,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	106,548	97,500
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	53,661	75,643
土地	116,992	116,992
リース資産（純額）	11,069	8,578
有形固定資産合計	288,271	298,715
無形固定資産		
ソフトウェア	45,928	58,548
その他	32,396	8,689
無形固定資産合計	78,324	67,238
投資その他の資産		
投資有価証券	786,308	854,228
繰延税金資産	699,733	693,956
その他	235,762	250,575
投資その他の資産合計	1,721,803	1,798,760
固定資産合計	2,088,400	2,164,713
資産合計	9,165,851	8,621,873

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	620,650	595,093
1年内返済予定の長期借入金	194,800	68,700
未払金	305,880	419,114
リース債務	3,313	3,336
未払法人税等	19,057	157,674
賞与引当金	811,390	395,083
受注損失引当金	17,093	17,851
その他	441,638	466,945
流動負債合計	2,413,823	2,123,798
固定負債		
長期借入金	225,000	180,000
リース債務	7,848	5,343
退職給付引当金	2,241,386	2,262,986
資産除去債務	60,924	61,875
長期末払金	174,432	126,388
長期預り敷金	509	274
固定負債合計	2,710,100	2,636,867
負債合計	5,123,923	4,760,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,897	1,180,897
資本剰余金	1,859,565	1,859,565
利益剰余金	1,179,171	1,376,399
自己株式	△324,320	△714,934
株主資本合計	3,895,313	3,701,926
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	146,613	159,280
評価・換算差額等合計	146,613	159,280
純資産合計	4,041,927	3,861,207
負債純資産合計	9,165,851	8,621,873

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	12,134,180	12,961,397
売上原価	10,174,883	10,917,582
売上総利益	1,959,297	2,043,815
販売費及び一般管理費	1,700,151	1,668,588
営業利益	259,145	375,227
営業外収益		
受取利息	1,422	667
受取配当金	22,318	22,869
投資事業組合運用益	6,919	16,700
その他	7,119	7,289
営業外収益合計	37,780	47,526
営業外費用		
支払利息	3,691	2,411
為替差損	-	1,529
支払手数料	-	2,552
雑損失	1,112	1,629
営業外費用合計	4,803	8,123
経常利益	292,122	414,630
特別利益		
投資有価証券売却益	-	15,850
特別利益合計	-	15,850
特別損失		
固定資産廃棄損	2,461	44
特別退職金	102,211	-
特別損失合計	104,672	44
税引前四半期純利益	187,450	430,436
法人税等	74,365	150,900
四半期純利益	113,085	279,535

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。